

News release

2025年2月28日
PwCコンサルティング合同会社

PwCコンサルティング、「スマートモビリティ総合研究所」 の設立を発表 産官学の連携を加速し、持続的なモビリティ社会システムの創造を推進

PwCコンサルティング合同会社(東京都千代田区、代表執行役 CEO:安井 正樹、以下「PwCコンサルティング」)は本日、持続的なモビリティ社会システムの創造を推進する「スマートモビリティ総合研究所(Smart Mobility Innovation Hub)」の設立を発表しました。

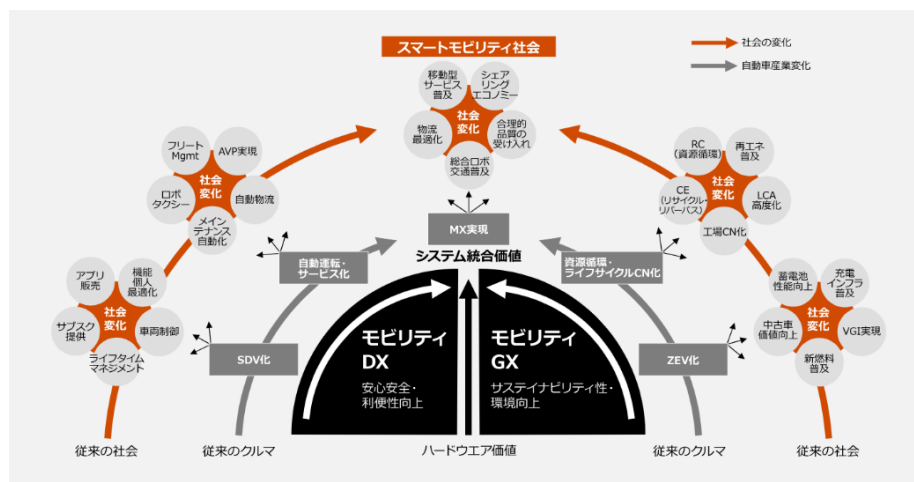
スマートモビリティ総合研究所は、モビリティ社会システムに関わるステークホルダーの、企業内連携、企業間連携、産業界連携を加速させることを目的として設立した組織です。モビリティ動向・関連データの発信によりステークホルダーの認識共通化を後押しするとともに、コミュニティ形成のためのリアルな場を提供し、モビリティ領域における価値創造の機会を創出します。

【背景】

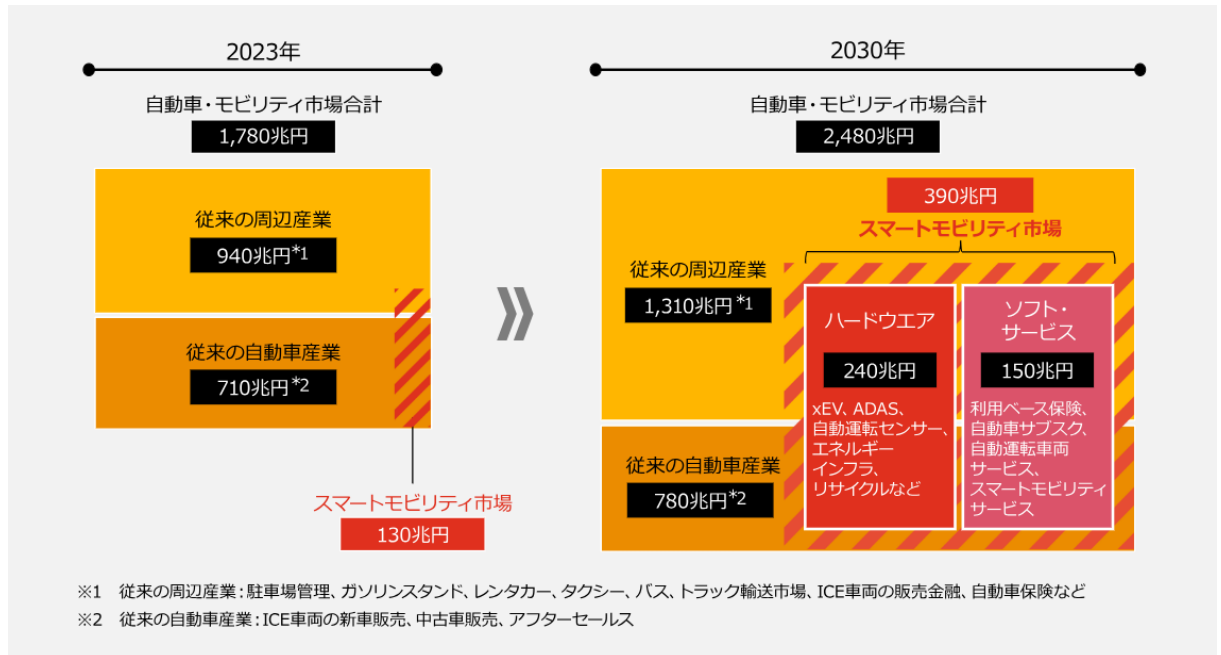
近年モビリティ業界は、SDV化や自動運転によって安心安全・利便性向上を目指すモビリティDXと、ZEV化や資源循環・サーキュラーエコノミーによってサステナビリティ性・環境向上を目指すモビリティGXという二つの大きな課題に直面しています。

現在、モビリティ業界はこのような変革の途上にあります。ハードウェア・ソフトウェア双方でモビリティDX、モビリティGXがより高度に実現することで、モビリティ領域全体が変革(MX:モビリティトランスフォーメーション)した新たな価値ある社会が達成されると考えています。

PwCコンサルティングでは、このようなモビリティDXとモビリティGXによって実現される社会をスマートモビリティ社会と定義し、今後のモビリティ業界において非常に重要な領域ととらえています。



このような変革による市場への影響に着目すると、世界のモビリティ市場は 2030 年までに 2023 年の約 1,780 兆円から約 2,480 兆円にまで成長すると試算しています。また、増加が見込まれる約 700 兆円のうち、モビリティ DX、モビリティ GX により大きな変革が求められるスマートモビリティ領域は約 260 兆円と推計し、モビリティ市場全体の成長をけん引する非常に重要な市場ととらえています。（PwC コンサルティング試算）

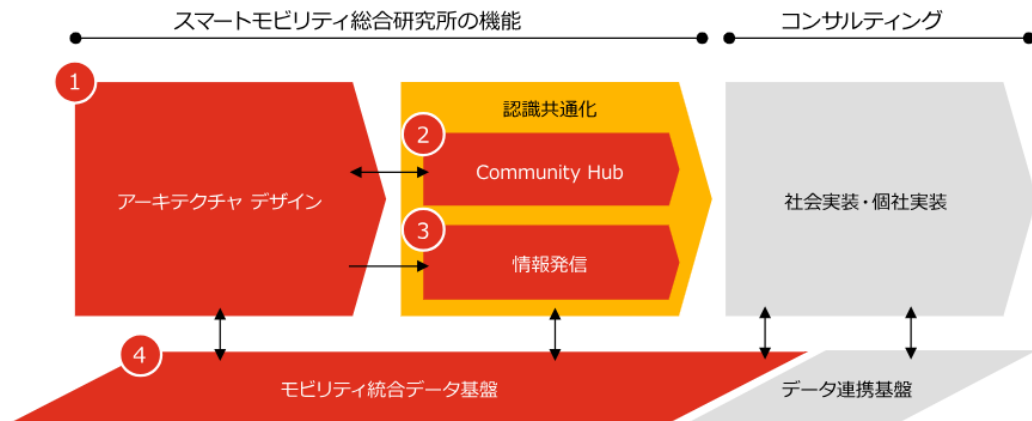


変化の中で競争が激化するスマートモビリティ領域において日系企業が価値を創出していくには、従来の戦略やオペレーションの在り方では、スピードやコスト、提供する付加価値も不十分になると想定され、それぞれの企業や社会に散在する経験やノウハウ、人材やデータなどのアセットを統合・連携し活用することが、スマートモビリティ領域における価値創出の鍵になると考えています。

こうした背景から PwC コンサルティングは、産業・機能横断のエキスパートが将来目指す姿を想定してアーキテクチャデザインを行ったうえで、ノウハウやデータを有効かつ効率的につなげ、活用できる環境を整備し、これまで培ってきた強みを将来のより大きな価値に結び付けていくことが必要だと考え、これらを実現するための組織としてスマートモビリティ総合研究所を設立しました。

【スマートモビリティ総合研究所の機能】

スマートモビリティ総合研究所は、以下 4 つの機能を通じて、モビリティ社会システムに関わるステークホルダーの、企業内連携、企業間連携、産業間連携を加速させてまいります。



1. スマートモビリティに関する課題やあるべき姿、ステークホルダーや必須データなどのあり方を構想する「アーキテクチャデザイン」

スマートモビリティ領域における社内外の専門家が産業横断での支援実績や最新マクロ動向を踏まえて、スマートモビリティ領域における課題を洗い出し、あるべき姿やその実現に関わるステークホルダー・データを整理し、スマートモビリティ領域の将来像を描きます。

2. リアルの場で有識者コミュニケーションを通じたアーキテクチャデザインの高度化と社会への浸透・認識共通化を図る「Community hub」

※施設の詳細については今後公表予定

モビリティ業界における影響力を持つ企業による展示や PwC Japan グループのソリューション紹介展示、企業・官公庁を巻き込んだワークショップ・セミナー、重要プレイヤー間のリレーション構築／マッチングなどを実施します。

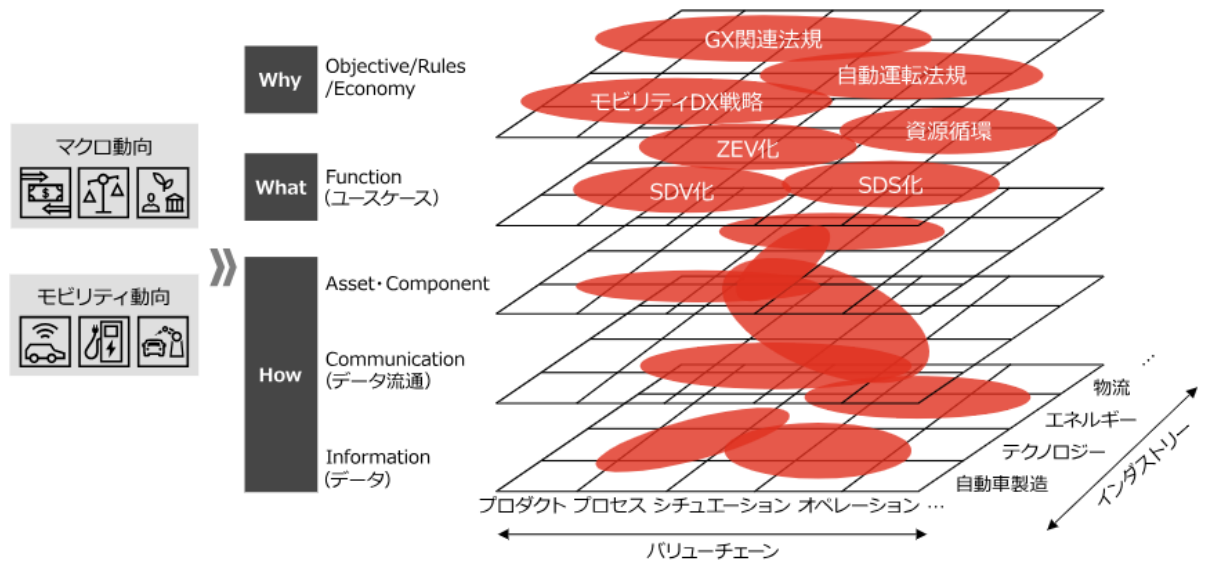
3. アーキテクチャに基づき、モビリティ領域全般に関するセミナーやレポートなどのコンテンツを通じて、集約的に情報を提供する「情報発信」

アーキテクチャに基づいて整理されたモビリティ関連データなどを基に、最新のマクロ動向・モビリティ動向や市場の予測などの情報を Web ページやセミナーを介して集約的に提供・発信します。

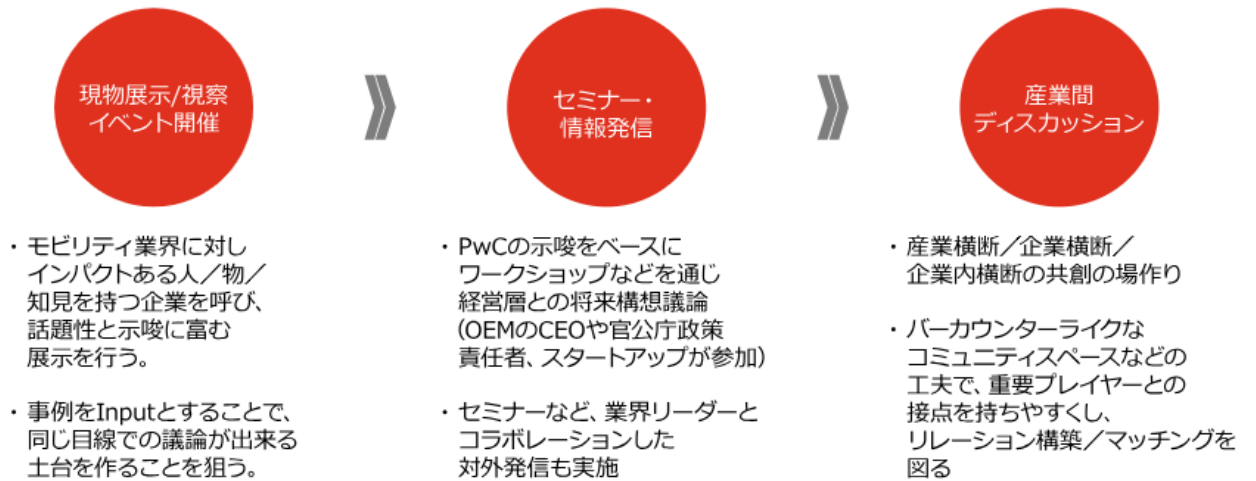
4. スマートモビリティ領域のあるべき姿への変革を加速させるためのイネーブラーとして機能する「モビリティ統合データ基盤」

アーキテクチャに基づき整理・構築したデータを統合的に集約し活用することで、スマートモビリティ領域における変革を加速させてまいります。

<モビリティアーキテクチャ イメージ>



<コミュニティ・ハブの提供価値>





【コメント】

PwC コンサルティング合同会社 パートナー
スマートモビリティ総合研究所 所長
矢澤 嘉治

この度、モビリティ産業の変革と発展に貢献すべくスマートモビリティ総合研究所を設立いたしました。PwC では、これまでもモビリティ産業の複雑な課題解決に向けて、社内における各テーマの専門家が「スマートモビリティ・イニシアチブ」として協働してまいりました。しかし、モビリティ産業のさらなる発展に向けて、産業間の繋がりと共創を生み出す必要があると考え研究所を設立する運びとなりました。考えに共感いただける方のご参画をお待ちしております。

PwC コンサルティング合同会社 スペシャルアドバイザー
スマートモビリティ総合研究所 副所長
川原 英司

今後のモビリティ産業の持続的発展には、「従来の枠組みを超えた発想」「産業アーキテクチャに基づく思考」「情報やデータの統合・連携基盤」「実践的な変革シナリオ」「変革のスピーディな実装」などが必要とされていると認識しています。また、これらには、企業内・企業間や業界横断でのさらなる連携の加速も重要です。スマートモビリティ総合研究所は、これらを拡充し変革に向けた信頼されるパートナーとして、次世代も勝ち続けられる産業へとエンパワーできる基盤としての存在を目指します。

以上

PwC コンサルティング合同会社について

www.pwc.com/jp/consulting

PwC コンサルティング合同会社は、経営戦略の策定から実行まで総合的なコンサルティングサービスを提供しています。PwC グローバルネットワークと連携しながら、クライアントが直面する複雑で困難な経営課題の解決に取り組み、グローバル市場で競争力を高めることを支援します。

PwC Japan グループについて

www.pwc.com/jp

PwC Japan グループは、日本における PwC グローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社の総称です。各法人は独立した別法人として事業を行っています。

複雑化・多様化する企業の経営課題に対し、PwC Japan グループでは、監査およびブローダーアシュアランスサービス、コンサルティング、ディールアドバイザー、税務、そして法務における卓越した専門性を結集し、それらを有機的に協働させる体制を整えています。また、公認会計士、税理士、弁護士、その他専門スタッフ約 12,700 人を擁するプロフェッショナル・サービス・ネットワークとして、クライアントニーズにより的確に対応したサービスの提供に努めています。

© 2025 PwC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.